

和蘭風說書

二

西垣文庫

文庫 10

7267

2

85

80

75

70

65

60

特 文庫 10
7267
2

建寧六年

當年孫汝中ハ新加多人口上書

佛萊西國阿萊院國ハ今軍家中仕ハ阿萊院方ハ佛萊西人
を大勢討捕ハ其以後ハ軍仕ハ由本國ハヲハ裁ハハ

一 下以奴ハまハるハかハ國ハをハ阿ハ萊ハ院ハ國ハハハ一ハ身ハをハ法ハ聖ハハハ寸ハをハ以ハ下ハ國ハをハ佛

萊西國を一身ハをハ法ハ聖ハハハ寸ハをハ軍仕下以奴ハまハるハ加討捕寸を

以下國を半分ハ秘討捕ハ以奴ハまハるハかハ子ハ下ハ仕ハ由ハ本ハ國ハ

寸ハをハ裁ハハ

ゆハらハんハ次ハ國ハをハ阿ハ萊ハ院ハ國ハハハ和ハ睦ハ可ハ仕ハ由ハ使ハ者ハをハ立ハ下ハ得

共ハ兼ハ引ハ可ハ仕ハ由ハ受ハ寸ハをハ以ハ下ハ國ハをハ忍ハけハまハるハ必ハてハ以ハ奴ハまハるハか

國ハハハ寸ハをハ忍ハけハまハるハ必ハてハ以ハ奴ハまハるハか
是班呀

鍋島家藏

清文庫

西頭文庫

スライテハ
燕 齊

燕 齊 間
一字 闕 半

燕 齊 半

燕 齊 間
一字 闕 半

甲州の地味唯今といふ兼引不仕り申す中園より申す

一 波爾杜加兒國ニ大船被撥ち申す及兼申す此後と南蠻船ニ
法堂ニ兵船ニ法堂ニ其子細如何松共兼り不申す本
國より越り

一 舟柄國阿茶院南蠻の出入去年申上り申す今指明不
申す

一 さら多由を此に縁をんで以ぬ世友とす已阿せと申す國ニ海賊
人左軍を仕掛申す然更右ニある乱武阿茶院人彼地より

南蠻不自生其成申す

一 去年福州ニ南蠻之使申す不交福州致分ニ者。阿茶院人

心次方南蠻可仕里言状を便咄吧差越申す然更前より日本
に余り申す世にさる申すか多し人小申す阿茶院船四艘為南蠻
福州に在り申す法堂

一 申すらん風の方獲申す果申す此子供三人并身一人此堂不三人
此の共政を何れ申す軍仕り世認領阿茶院を申す申す加勢
一 仕り

板淡

一 申すたむら申す阿茶院に 殺年南蠻仕り此只今申す申す
一 申すから申す阿茶院人私を仕立唐口南蠻。余り申す天川近所

漸刺江

一 船を買陸系小船を調其治帰見治去綿舎方

唐人有阿紫陀人者不殊步殺為和皆之取中七人阿紫陀
人在此小私分逃去如歸中

一去年十月阿紫陀西大將名付連守國大將の極年一在成中
也中遊中

一咬咽也世稱与傳去十月一病死其安其認目を連死より云ん
今云んす中志也極ら派没一在成中

長か書ん
何ら云ん
新か書ん

乙連死下左阿氏

右之趣或人か云ん今中時通和解是上中以上

右之趣或人か云ん今中時通和解是上中以上

六月廿二日

通判

延宝七年

當年秋後中ハ新か書ん口上書

一佛蘭西人の阿紫陀人ら近年軍仕に交去年十二月和睦仕中
物支先年物らん治方ハ今ハ中ハ海片丁連死中ハ新佛蘭西
方ハ是返中ハ

森刺板記

一去年海より阿氏中ハ南蛮人方ハ兵船を遣軍仕に治方
互勝負量は唯今去和睦仕別由より阿氏中ハ在阿氏を拵
南蛮人其在中ハ是當去来中ハ

司吏

一 才已阿也や中回く去去て回を取てやう企六七万人催去已回は
 之掛し其變お已回く者望く用心仕在るは身在去已阿也此の
 者回中に入中事不取成し然其も其阿也此の志在すれ我
 きり一せん宗意に取成てやれ百回中に入色やれ松と謀やれ
 其出已此の事の中ハ推人式推人の事といふ中入まきじしたん
 宗つちりてやれ其大勢の事は乃此に入まゆ後す取成れやれ
 由當春風習生望れ其後と軍仕て又ハ回、其均式何れ此
 美ふやれ

九哇

一 志や已回く人乃在果やれ其子供三人阿也此の依也飲が
 有り其式人の中在回を多し近年軍仕兒討負やれ其今友

阿茶陀人兄方加勢仕在才共在やれかてらや中不を返拂やれ
 候軍ハ其テ止不やれ

一 阿茶陀人用所身近不、小船并櫓舟をとせやれ海志
 丸ん多む之者其在出少船共を取防やれ此意願と志已回の大
 将く才商人方が中後とせやれ

一 當二月兵柄取し近所此の事とて以り中回の去其友軍仕は
 極子ハ如何の後を不事候

一 此東系公は建人形取を指し其言新証やれ此に東京を取つ勝
 少次牙極の中是免中此其其後如何極取れ其居不極や事其
 用し此中後極させふやれ

右に越人、かきせん、立合中軍、通和、解上、十以上

未七月十一日

通判

右に越人
かきせん
て連記下、何れ
阿茶院方、加勢、任、國、を、取、返、し、見、方、甚、之

延宝八甲年

當年、延宝、中、ハ、勅、如、之、人、以上書

一 近年、佛、茶、西、國、ハ、阿、茶、院、本、宗、仕、ル、家、和、睦、仕、ル、也、去年、八月、比、ニ、
本、心、中、越、ル

一 伊、期、波、尼、西、國、ハ、獨、逸、國、ハ、不、和、以、望、ル、手、折、し、及、軍、中、使、本、心

より中越ル

一 さら、西、國、兵、柄、國、ハ、互、に、大、將、名、を、取、出、し、中、心、此、者、方、使、志、
を、以、て、す、と、國、の、大、將、出、立、ん、多、う、中、者、中、心、を、方、娘、此、方、の、よ、
免、在、り、中、心、者、浪、子、四、弟、費、余、其、上、正、室、物、を、取、採、り、是、由、中、掛、ハ、
一 此、心、大、將、出、立、ん、多、う、中、心、を、是、ハ、存、分、前、に、使、ル、娘、之、後、之、不、
及、中、何、れ、と、也、中、心、を、取、出、し、返、事、後、是、を、後、と、出、る、方、ハ、
中、心、ハ、其、ル、軍、を、仕、掛、娘、ハ、國、ハ、變、ハ、押、掛、五、中、中、心、就、更、高、
三、月、間、双、方、人、殺、し、採、算、し、用、意、仕、事、中、心、後、ハ、何、れ、也、兼、り、不、中、心、
一 去年、中、上、心、也、已、國、ハ、大、將、出、立、ん、多、う、子、供、政、月、諱、ハ、是、を、追、拂、
中、心、を、繼、代、五、中、心、ハ、阿、茶、院、方、ハ、加、勢、任、國、を、取、返、し、見、方、甚、之

中川才左衛門為兵中川才左衛門共軍仕掛中川才左衛門阿茶院方、
加勢を頼中川才左衛門三年九月西之加勢甚之軍仕掛家危生捕見方、後
中川彼者も是方之殺之、亦已承許中川才左衛門阿茶院方、十大勢
うたま中川

一 去年十月少東の大將の使届也、使者兩人を中川才左衛門海邊に下し、
錦合方の軍を仕掛中川才左衛門阿茶院方を甚之加勢中川才左衛門中川才左衛門
治世承許中川才左衛門返事不仕中川才左衛門今使届也返事仕中川才左衛門
一 為南支阿茶院方三艘福別、此毎年甚之中川才左衛門は仕中川才左衛門保
日本に之船出船仕中川才左衛門福別中川才左衛門船を中川才左衛門
一 中川才左衛門常四日比使届也、使者を中川才左衛門中川才左衛門也、

出入中川才左衛門海邊中川才左衛門の跡心を仕掛而後、法律中川才左衛門、
中川才左衛門中川才左衛門後阿茶院方、使者を中川才左衛門中川才左衛門
中川才左衛門阿茶院方、使者を中川才左衛門中川才左衛門中川才左衛門
中川才左衛門使者を中川才左衛門中川才左衛門中川才左衛門

中川才左衛門
阿茶院方、使者を中川才左衛門中川才左衛門

中川才左衛門
中川才左衛門中川才左衛門中川才左衛門

右之語武人、中川才左衛門、三合中川才左衛門通和解除、中川才左衛門以上

七月十五日

通判

天和元四年

當年秋後十月朔加多ん以上書

一阿茶院本武佛郎西國嘆咭判國ていぬ後加西獨逸小波
尔杜加兒國伊斯波兀亞けろろ國世玉ころ年之軍告治者唯
今る去何まゝ國も矢留仕り

一矢揚國さう多國出たせころをんて以海玉世三玉在取右中
守護世將の國を譲りし事及延月日故世將方ノ親を殺し玉を
取中ん子立る親子軍営中仕り所事

一嘆咭吧近所をん多むらり不の守護阿茶院人ノ殺年中惡妻
所望らり折し軍仕り得貴唯今ハ和贖仕り所事

一嘆咭吧近所をん多むらり中所之守護ハ屋入居り中不之守護日

ハルハルハ
ハレシバシガ

胡椒

五、國を棄去十月時分ノ軍仕り事、屋入居り守護軍ニ討獲中ハ
世百由、こせり出中ハ右、こせり阿茶院方、殺年買來、右方為
和贖之阿茶院方ノ使者を去、扱りし所事

巴且

一玄秋をん人二人之存成凡傳ハ事、嘆咭吧、連敵中ハ事
右之二人嘆咭吧、之宛給仕、右軍中ハ残り四人ハ堅固ニ居りし人
取、言傳を、中ハ事、船中ハ彼等ハ元使望、阿茶院方、小船ニ
送り、是、中ハ事、法望、中ハ事

一於嘆咭吧阿茶院人ノ惣領世孫ら、復仕り、思治、不、をん、ろ、ん、後
志、本、國、ニ、移、降、ハ、善、シ、少、望、ハ、所、事

長久寺上人

右條之倭咽也中誠也身或人の如く中安通和解
以上

いざ死せんすん以上
魚んて巴きかん世に

六月廿二日

通判

天和二年

尚年再後中如到寺人上書

一去年中上中通阿茶院中国何小方亦矢面仕唯今中静強中望中
也倭咽也中誠也中所事

一天川位宅之南番人左近年不仕合中南受仕子主日中其成困窮

仕取在中出及兼中所事

一倭咽也中不中せん中む中わ中ら中不中の中当後惣飲中固を譲中中中を中返中通中其
身中五中七中二中甲中也中中中身中惣飲兼引不仕互中軍中推成惣飲方中
阿茶院中加勢を執中中中後阿茶院人加勢仕軍中討務志中惣飲
せんたむの当後再集中所事

一去年倭咽也中是為成御侍言中た人六人之内去年か人死
後仕取果中中中又尚年人病死仕残三人死中中中然中至中もたれ
事中能存中其の他中不中余在中者中お尋中せ中し中也中治中を中良宗中之中道
新中ら中らん中中中治中の中事中相檢中中中身中送中り中事中中中長中少中望中所事
一志也人去中年中不中ど中一軍仕中治中唯今中を中和給中仕中所事

一 倭喃吧近所ニ尤もむらん中ノ所ニ身獲ト爲ル所ノ中ノ所ノ身獲
ト軍仕仕込者今秘を和懐仕仕所事

一 去年正月比倭喃吧ノ阿茶陀船ヲ艘為南支福列ト爲テ
支内ニ支股福列ト爲仕ト今支艘ハ大凡支支月時ノ廣東
系ノ以高賣仕當春式艘ヲ倭喃吧ト降帆仕仕所事

古のむらん
何んて書記かん世
新かむらん
何んて書記かん世

右ノ教訓人々加至每人三合ノ所ノ通和解云上ノ所上
七月八日
通和

天和三年

當年所傳十ノ所ハ至每人口上書

一 倭喃吧近所もむらん中ノ所又爲ル所ノ所ノ南三月比軍
仕仕双方ノ阿茶陀方加勢を和ノ所ノ放船三艘遣シ之世中ノ所
爲ル所ハ兵船教艘もむらんト軍仕掛中ノ所放阿茶陀ノ所
をむらん方を付のけ和懐仕仕セ中ノ所北支所支阿茶陀南支
仕仕ニ至所ハ故在通仕仕

一 南支國の内不ノ所カ中ノ所ハ浦ノ所ハ和教艘遣
中ノ所承リ中ノ所如何故ノ所ニ送中ノ所子細ハ不事存

一 去年中上ノ所倭喃吧近所をむらん中ノ所ハ古護熱鎮國
を懐リ中ノ所爲ル親心を一次男ニ國取らせ中ノ所仕仕故思

領事の方の阿茶院に加勢を頼りては、夏頃、兵船が被取られたるに、
越軍を仕掛、親の方を責め、怒領の遣はし置、中は、船に、又、又、又、
親の方の軍を託し、中は、又、怒領の方、又、阿茶院の方、加勢を頼り、
故去年十月頃、阿茶院の方の兵船を遣、親の方を責め、怒領の方、
國を不残、海の中は、親降、兵船を遣、右に、親を怒領、城中、圍、
右、主、唯、今、も、も、ん、を、む、務、り、や、れ

一、去年、月、為、商、賣、阿、茶、院、船、三、艘、福、州、廣、東、に、心、掛、き、や、れ
一、阿、茶、院、本、方、お、寄、り、役、を、望、み、唯、今、も、も、ん、を、む、務、り、や、れ

古のむん
何んてまにまに
新のむん

大人たんとらん

右に、叛、人、の、か、た、ん、立、合、中、の、通、和、解、を、上、中、の、上

六月廿二日

通詞

風説書

一、去年、中、上、の、通、人、の、多、む、の、守、護、父、子、軍、仕、に、身、怒、領、方、阿、茶、院、方、に
加、勢、を、頼、り、故、阿、茶、院、方、兵、船、を、遣、軍、を、派、之、怒、領、方、利、運、仕、に、
其、後、親、方、の、嘆、泣、利、國、に、加、勢、を、頼、り、中、は、身、尚、年、を、け、違、行、方、に
兵、船、三、拾、艘、余、を、裁、中、に、及、又、阿、茶、院、方、大、船、二、艘、を、ん、た、む、に
是、に、勤、固、仕、に、就、支、世、を、け、れ、才、軍、不、仕、に、何、も、も、阿、茶、院、方、に

を示す中とあるは故阿茶院方を法園に遣し中ノ南支那に
 安んんを存存心し其の故を以て殺すにせし
 一廣東に南支那にあり中ノ唐人使節に遣し中ノ高砂に
 和をせし中ノ高砂に遣し中ノ兵船を遣し高砂を去り中ノ高砂に
 高砂に大將城を以て高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に
 使節に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 一梅らん人ノ醫者救年志やむ 兼り中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 の内をんかたり中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 志に醫者に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 一宗旨を南支那人宗旨と同し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し

耳捕寨

一東京に逆心を起し数千人を以て國王を捕我ら王に可成る
 手立を任り安國王の國を捕我ら王に可成る
 捕死罪に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 一天河に君中ノ南支那人方を遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 三ヶ所、使者を以て進物を遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 船三艘廣東に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 一去年志やむ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 共子細を告知せし中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 一てぬまろり中ノ高砂の玉主の子を遣し中ノ高砂に遣し中ノ高砂に遣し
 任り

河内文証

一 倭留吧世孫らうらふ秘事はすむるまらん去年正月病死仕り二月
己の代かんふい ちや志在之代世孫らうらふ秘事の中

古の事

おんはたんてんらん

新の事

ゆるてきんせんふいのむ

若く報か人らかひせん立合中暇り無和録は上り以上

七月十日

通解

貞享五年

風説書

一 去年の定路出之國と以て本と軍仕れはとろ出之本之國方と
と以て人方の歩むと正唯今と軍宿中仕れ也阿茶院本

倭留吧中來小

一 佛郎西國之國と阿茶院本と親と中親と志世以後或は年と百
軍と矢面仕れ彼或は年と月分本と軍仕れ在互中在助勢
と仕方中定と也阿茶院本と倭留吧中來小

一 去年物らんは世と既といはせんや國の流資と中世といは互
可仕也為東國之使者を遣と中は如何格と起と月世と或は後兼
切とらんは世阿茶院本と倭留吧中來小

一 去年十月汝為商賣阿茶院親倭留吧廣東と世と中と交唐
人をは九船と送教艘とる掛中は身赤静と中と年終は後
日唐人日本と系上布と如何格と中上と或は或は手白と仕

折返す

一 天川三君は南蛮人、本國不_レ可_レ加_レるの書獲_レりて天川三
去年使者を本國頭_レの書状_レを進_レむるを源_レ志_レと_レ名_レ取_レりて
使者の中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レの書状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ
中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レの書状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ
兼り及_レす

一 先年_レ大_レく_レ共_レん_レや_レ阿_レ茶_レ陀_レ人_レ軍_レ仕_レ時_レ分_レ阿_レ茶_レ陀_レ人_レ扱_レす_レ人_レ生
捕_レ東_レ亭_レ敷_レ年_レに_レ至_レす_レ中_レに_レ交_レ唯_レ今_レを_レ東_レ亭_レ大_レ川_レ人_レの_レ手_レに_レ入_レす_レ身
右_レの_レ阿_レ茶_レ陀_レ扱_レす_レ人_レ大_レ川_レ人_レの_レ手_レに_レ入_レす_レ身_レ大_レ川_レ人_レの_レ手_レに_レ入_レす_レ身
也、_レ名_レ取_レす_レ中_レ

一 去年_レ阿_レ茶_レ陀_レ船_レ大_レ明_レの_レ内_レ何_レ以_レむ_レい_レ中_レに_レ南_レ蛮_レの_レ書_レ状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ
南_レ蛮_レ人_レ被_レ地_レ下_レ孫_レ立_レす_レ中_レに_レ南_レ蛮_レの_レ書_レ状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ
一 去年_レ大_レ川_レの_レ頭_レ人_レ敷_レ七_レ万_レ人_レ程_レに_レ連_レ為_レ足_レ分_レ南_レ京_レに_レ孫_レ裁_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ
中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レの_レ書_レ状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ

古_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レの_レ書_レ状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ
新_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レの_レ書_レ状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ

あ_レん_レて_レ連_レ為_レ足_レ分_レ南_レ京_レに_レ孫_レ裁_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ

右_レの_レ書_レ状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レの_レ書_レ状_レを_レ中_レに_レ名_レ取_レる_レ南_レ蛮_レ

七月廿七日

通詞

貞享三寅年

風説書

一當三月頃天川地之唐人共喫啗也。為商賣小船幸被仕立糸、
 少之商賣仕被地致出帆、少之んたむ和嶋、而破損仕、其
 糸組中、天川人四拾九人喫啗也。小船、天川、送、
 一娘、んを國の民阿茶院同宗、者救方法、此、
 每成、於、善、左、家、欲、を、取、上、曲、事、可、中、身、名、制、札、を、立、中、此、
 阿茶院、為、仕、少、其、去、去、を、一、擗、問、又、を、死、罪、行、以、中、
 大、勢、之、去、在、阿茶院、國、又、一、他、國、旅、之、欠、落、仕、年、去、又、行、
 不、叶、去、又、之、初、以、之、者、共、殘、存、中、を、取、一、毫、金、中、
 仕、中、本、國、中、來、
 一、忽、け、ま、次、國、之、書、獲、お、果、中、以、少、之、書、身、之、一、連、次、之、書、獲、お、成、中、

新葛葉上

然、此、先、古、漢、之、下、腹、の、子、法、此、忽、け、ま、次、國、の、同、方、之、
 中、所、以、以、仕、加、擗、を、信、也、何、又、与、單、仕、以、治、を、不、擗、故、討、負、殺、中、
 一、忽、け、ま、次、人、志、忽、也、阿茶院、同、宗、之、書、此、今、度、書、獲、之、
 弟、之、書、以、中、左、ん、や、國、の、書、獲、之、娘、之、書、年、嫁、仕、在、
 之、進、免、之、書、也、宗、之、書、成、中、以、少、之、書、身、之、一、連、次、之、書、獲、お、成、中、
 一、當、三、月、頃、娘、り、ん、次、少、之、書、也、一、使、志、船、式、被、為、殺、中、子、細、
 之、娘、り、ん、人、先、年、之、書、也、一、死、在、少、之、書、也、一、死、在、少、之、書、也、
 一、中、身、之、書、也、仕、中、今、度、使、志、火、分、之、進、免、を、為、送、中、以、少、之、書、
 一、尤、て、進、免、之、書、也、一、人、宗、之、書、也、一、死、在、少、之、書、也、一、死、在、少、之、書、也、

廣め為すル極及兼すル

呂宋

一四月初頃よりさるる使咄吧に中來りたるは数年ほど前
に在りて其地之者共をきりて其宗門に進めりしきり
とらん其地を志すに其地をきりて志らん成りて志す大體此
に立のきりし中來り

一尙二月志やむ登極の使咄吧に世杯らるる使志を其我中其子細
と其地を志すに其地をきりて志らん成りて志す大體此
に立のきりし中來り

再改すル

古の志士
何んて其地を志す
新の志士
其地を志す

右之趣に人々加ふるに中國は通和解除上すル以上

七月十二日

通和

貞享四年

風説書

コトコロマニル

一去年より西國の將軍が其地を志すに大軍を遣へて其地を志す
中其地を志すに其地をきりて志らん成りて志す大體此
に立のきりし中來り

一當年咬啗吧之近所何らんや不のち護不行儀是也

家老去お後の上を以殺其弟拾四歳に成れを取三十一

一去年十二月頃其建人たすす出はらち中玉の身護ニ系り

中玉を近所の國に世玉を棄取す中子三仕は及兼中又

阿蒙陀方をも心懸中格兼おひらり禮奏中忍け建は

一手に已す出はら商賣の年三仕は咬啗吧中未

一當年三月頃大屯との國大きてり青多まを一り殺万人

飢死仕は咬啗吧中未

一去年南蛮人船志やむ登取を使志を三人系セ人ぬらんす

四、是人の忍け建す不、是人の波爾杜か児玉に世中中

喜望峰

アシカラ

亦已國^ア勢^カ夫^シ出^シ取^ル仕^カあふち中近所あんかうらち中不て破取

仕人^ハの大方たをかり中故かあ故が咬啗吧中裁

一去年十月いそむらんら不のち護兵船而艘秘造り武

道具を用意仕近國^ハ人^ハ船^ハ中^ハ前^ハ軍^ハ系^ハ以^テ覚^テ仕^ハ中咬啗

吧^ハ中未^ハ取^ル掛^ル中故^ハ未^ハ知^ラ建^ス不^シ中世^ハ元^ハ隊^ハ在^ルニも阿蒙

陀人為南蠻者所は坐

一去年のころ海國の掛の川和の浦に忍け建は取入浦

者中南蠻船を殺殺^ス中中^ハ中^ハ中^ハ中^ハ咬啗吧中未^ハ子細無柄國^ハ近所^ハ國^ハ南蠻^ハの所^ハ仕^ハ以^テ免^レ不

中故右之通仕は也十未

一當平月、唃廝囉近所の在り、山賊共殺度あり、百姓共
 を大勢、殺賊突を云り、阿茶院人方、多勢を生じ、山
 を仕、盜人共、武百人餘、殺せ、残り、志す、逃す、中に
 一去年、北京の帝王、唃廝囉、阿茶院人、南、使者、を、遣す、北
京、少く、阿茶院人、百、五、中に、所を、至す、右、所、後、免、不、中、使者、馳、走、仕、其、上、南、使、者、を、遣、す、中、に

古くは、唃廝囉
 あん、を、遣、す、中、に
 新の、唃廝囉
 遣へて、唃廝囉、を、遣、す、中、に

右、唃廝囉人の、中、使、者、を、遣、す、中、に
 通和、解、是、上、中、に

七月、廿日
 通和

元録元辰年

風説書

一、唃廝囉、兵、船、を、四、拾、艘、秘、武、具、并、石、火、矢、牧、多、用、意、仕、且
 多國、兵、船、を、遣、す、中、に、軍、初、中、後、を、未、兼、り、不、中、に
 一、唃廝囉、近、所、た、る、所、ら、中、に、阿茶院、船、為、南、使、者、を、遣、す、中、に
 然、阿茶院、を、海、賊、を、取、り、中、に、仕、中、に、阿茶院、人、強、手、向、し
 仕、海、賊、を、遣、出、す、中、に
 一、唃廝囉、國、の、海、賊、船、廣、東、の、近、所、に、船、を、遣、す、中、に、唐、船、を、待、請、唐、船、の、荷、お、を、棄、て、人、を、遣、す、中、に、唐、船、を、待、請、唐、船、の、荷、お、を、棄、て、人、を、遣、す、中、に

一 忽^レけ^レる^レに^レ兵^レ船^レ教^レ艘^レ用^レ意^レ仕^レ中^レ也^レ阿^レ業^レ陀^レ
國、^レ北^レ波^レ中^レに^レ居^レる^レ右^レ西^レに^レ阿^レ業^レ陀^レに^レ軍^レを^レ仕^レ掛^レ中^レ後^レも^レ一^レ有^レ法^レ坐^レ
つ^レて^レ故^レ阿^レ業^レ陀^レ國^レに^レ兵^レ船^レ教^レ艘^レ用^レ意^レ仕^レ置^レ中^レ右^レに^レ通^レ阿^レ業^レ陀^レ
本^レ國^レに^レ變^レ阿^レ業^レ陀^レに^レ中^レ來^レル

一 突^レ插^レ國^レを^レ定^レま^レる^レ人^レて^レ以^レり^レ中^レの^レ者^レ共^レ友^レ軍^レ仕^レ中^レ國^レ中^レ
兵^レ亂^レ故^レ耕^レ作^レ未^レし^レ不^レ再^レ成^レ大^レ方^レ及^レ飢^レ死^レ中^レ將^レは^レ坐^レす

一 夫^レや^レ武^レ國^レの^レ近^レ所^レに^レ連^レ兵^レ必^レし^レ海^レ賊^レを^レ唐^レ祇^レを^レ得^レる^レ也^レ中^レ上^レ
唐^レ人^レ祇^レ頭^レを^レ捕^レ得^レ子^レを^レ出^レす^レ中^レ中^レ掛^レ步^レ擲^レひ^レ多^レし^レ
祇^レ子^レを^レ中^レに^レ所^レに^レ祇^レ頭^レを^レ殺^レす^レ中^レ來^レ合^レ唐^レ人^レを^レ不^レ殘^レ陸^レ揚^レ唐^レ
船^レ未^レ燒^レ已^レり^レ中^レ中^レ法^レ坐^レす

一 海^レら^レか^レら^レ中^レに^レ唐^レ船^レ志^レす^レ也^レ夫^レる^レ中^レに^レ變^レ阿^レ業^レ陀^レに^レ連^レ兵^レ人^レ海^レ上^レに^レ棄^レ
て^レ中^レに^レ坐^レす

一 突^レ插^レ吧^レ鄰^レ國^レを^レ人^レ多^レむ^レ中^レ中^レ國^レ主^レを^レ冬^レ去^レ果^レ中^レに^レ中^レ腹^レに^レ子^レ下^レ腹^レ
に^レ子^レ國^レを^レ得^レい^レ中^レ然^レに^レ變^レ阿^レ業^レ陀^レ中^レ之^レ者^レ去^レ下^レ腹^レに^レ方^レ、^レ中^レ後^レ不^レ仕^レ也^レ
故^レ本^レ腹^レ方^レ阿^レ業^レ陀^レ人^レを^レ教^レ中^レに^レ牙^レ阿^レ業^レ陀^レ人^レ中^レ立^レ拔^レを^レ以^レ本^レ腹^レ方^レ
相^レ後^レ仕^レす

一 突^レ插^レ吧^レ近^レ所^レを^レ人^レ多^レむ^レ中^レ中^レ同^レ近^レ所^レを^レ得^レる^レ中^レ中^レ軍^レを^レ仕^レ
掛^レ中^レ然^レに^レ變^レ阿^レ業^レ陀^レ中^レ海^レに^レ如^レ勢^レを^レ元^レ中^レに^レ牙^レ阿^レ業^レ陀^レ人^レ一^レ身^レ
仕^レ後^レ杯^レか^レ何^レ後^レに^レ去^レ左^レ追^レ掛^レ人^レ魚^レ國^レの^レ利^レ運^レを^レ成^レす

一 當年^レ阿^レ業^レ陀^レ船^レ突^レ插^レ吧^レに^レ武^レ艘^レ志^レす^レ也^レを^レ獲^レ以上^レ三^レ艘^レ系^レ中^レ若^レし^レ内

受田出ハ武艘在ニ入津仕カ志ヤ出シ幸艘ハ風不煩故カ之連
中ハ

古の云々
何んて武地をんぬ以て
新の云々
六の補遺を人古うてらるん

右之趣云人々如云云十同ハ通和解云上ハハ

七月十五日

通判

元禄二年

風説書

一去年冬に運送回并物見江國兵船大分造中ハ何之用共不在得
共若兩國ハ阿葉陀方ト取掛コテ兵船之檢四艘用意仕ル

一阿葉陀ハ南賣船大小三百艘程ぬらん此ハ、第一番中ハ其
田仕阿葉陀國に返不中ハ

一急げ運送玉の昔後利ハ其如家玉の御年ニ此中ハ然ル交三ヶ年以
古後取果中ハ其第分守護ニ成ル刻玉中ハ者中ハハ
其ん宗寺成ルハ其後難成の中ハ其家ニ其將分中ハ志古護を
尤て其ん宗ニ其成り成リ其家老在右ノ者先親ニ仕置ハ
之後玉中ハ者古誓約仕古後其成ハ其後玉中ハ其ん宗ニ
其成をて其ん在を家老ニ立古来ニ家老役人古を遣下中ハ物更
玉中ハ者古をて其ん宗ニ其成中ハ其れ兼ハ不仕成
地玉ハ其れ乃ハ其れ交殘ハ玉中ハ者古ハ阿葉陀玉中ハ其れを其

中をてまゝ宗、不長成りし志、歩殺りし、阿茶院、加勢
其成、以後、静下、松、中、来、小、巨、細、を、阿茶院、之、け、ま、は、同、宗、ら
古、未、五、和、煩、何、小、軍、は、掛、り、去、加、勢、を、仕、り、約、束、仕、其、上、阿茶院
人、と、数、年、軍、仕、り、抄、節、を、け、ま、は、國、之、大、將、一、婦、ハ、元、分、阿茶院、國
聲、男、之、好、身、を、以、阿茶院、之、加、勢、仕、り、志、入、魂、之、初、月、が、ら、今、及
急、け、ま、は、國、の、騷、動、を、静、し、ま、あ、去、年、十、月、將、分、阿茶院、大、將、如、奴
ん、兵、取、六、百、艘、余、軍、勢、三、万、人、和、騷、島、五、千、騎、余、を、急、け、ま、は、必
く、自、身、亦、向、い、し、ま、急、け、ま、は、國、の、大、石、古、拉、七、人、并、速、阿茶院、大、將、よ
二、身、を、取、を、妻、中、二、身、を、取、手、向、二、子、及、奥、の、國、引、籠、り、阿茶院
必、分、余、の、取、を、急、け、ま、は、國、の、浦、に、兵、取、掛、置、り、友、奴、ん、を、必

より急けまは必、加勢、来り、依、不長成り、阿茶院、之、變、咄、也、が
本、

- 一 阿茶院、必、の、大、將、急、け、ま、は、國、を、然、れ、分、隣、國、の、妨、中、依、る、を、坐
式、ら、為、用、心、兵、船、を、浦、の、中、に、懸、置、中、
- 一 阿茶院、國、の、變、咄、也、に、商、賣、船、式、艘、差、越、り、小、奴、ん、を、國、の、前、に、
ぬ、り、ん、す、人、を、取、中、小、人、に、依、る、子、加、せ、是、皆、を、入、石、を、中、右、に、仕、合
故、奴、り、ん、す、人、の、取、見、合、り、次、者、阿茶院、人、方、に、棄、て、中、を、船、中、に
者、乳、明、て、仕、り、依、り、阿茶院、船、大、風、に、逢、萬、一、日、本、の、地、に、漂
着、て、仕、依、る、者、法、坐、凡、存、存、及、樽、前、を、以、中、上、と、す、
- 一 とい、ち、國、と、改、め、國、を、軍、仕、と、す、と、國、之、内、を、とい、ち、必、の、書、後

方、穀少取リしは与と流去り方々降来仕唯今矢留仕は然
要此以て古國の勢とも只今をぬらんす國に軍仕は也中來し勝
負は未だ未だ走不し

- 一始らんとす大勢を催し阿茶院國の近所こころを遣すは中
又大を治ち中不しといち國の内を治望しをぬらん屯國に惣領
軍仕掛りし輕丈阿茶院と云ふといち國のかた方ニ大將を中將
交ぬらんす此の惣領仕中を兼り身中と勢を引て中
勿擲祭也
云に古やん玉の兵取救艘出といは古國に杜掛軍仕は中將
來り此云に古やん國の表をて進ん宗方と法望
一毛六ら國の大將を隣国に出たんとて玉の軍仕掛出ろんた大

將を當年生押す

- 一云ちやふらふ國にもあるが軍を仕掛是は大将を遣ふる方は生
捕仕り子細を穀年御調物を綱束りて交近年中絶仕は故軍仕
此為は近年耕作法商賣不成候死仕者多法望し
急げ連任人と云ふ人ら又大す堂人ら去年が只今迄軍仕
一急げ連任人徳玉浦と海城船を出す中將也中來し
一去年中上り通ぬらんす國の近所を遣りて國の中玉の名は左
こむち中將此志志やむ國に系牧年位宅仕方便を以て取の氣入
段、立身仕家老と云ふ向かきり交ぬらんす此書後ら内通仕志や
む必を棄て中謀步願と云ふは去む死罪は中將に然し交ぬぬ

らん中人在らんこち中町の小城に取籠居たりを志やむ形に彼奴
らん其人英志に事人し不殘國中追押す其外志は憐れんす
ふ系り居たりをらんを捕一具今に至る會中身在る中志や
むが中東に

一南蛮人を近奉を徘徊不仕勿論新敷國を出入中ゆはる事
坐本國の使咄也に中東に

右のいさん
おる袖まにらんをうてらん
新のいさん
をうたのさらすいさん

右之類式人の如いさん中関外通和解先上ヤ

七月廿七日

通判

元禄三年

風説書

フテヌケ

一去年阿茶陀の古後ふまんにち中志忍けす國に兵取七百艘
余并雜兵に百万人余に如然ヤ
一忽ち阿茶陀宗吉を忍けし人同宗に法堂外忍け去る國の
古後先祖代に阿茶陀宗吉を南蛮人より敵に法堂外忍け去る
國中第一中定は志阿茶陀同宗を替他宗に居成り古後之後を
北後仕ても愛ら堅中定は法堂外忍け去る連三國中に入
込也阿茶陀宗吉を替伴天連宗吉を勸中身先親國中の中
定を破國に仕置ホも我信中掛り身忍け去る國三國に者共

乱國の軒、西來到忍け連任國の學者共を毫仕らせ其外之者も
礼物や自ら世名を右之者も南唐宗方無成り消ちりし者古
兼引不仕れ故ぬ斯時度北使忍け連任國の大臣左方阿茶院
ふ思んす方、忍け連任亂國を靜治し格と中教し身古之人教
て阿茶院と云け連任國に在哉し然も右兼金之者古忍け
連任國の古獲差免りし然も忍け連任國の内拾五部之者
共中阿茶院と一身仕り友忍け連任國の古獲不及一戦兼成
評訴ん^{ロンドン}とら中取分さ阿茶院の中取に妻子を爲り夫は婦らん
其國を執り或は早速婦らん其國古獲の私人加勢を爲り忍け連任
國の以、於此ら中取に乘り此い、於此元來領分右彼所之人数

- 一 阿茶院の軍に仕受候は此世に於て未だ軍を不仕り
- 一 忍け連任國の大臣左方阿茶院と古獲忍け連任國の將軍
に仕り此使隣國に知らせ候儀とて、使志左儀の中
- 一 物乞も國に先年阿茶院宗方の志教万位宅出りしを國中追拵り
其上世度忍け連任國大臣の守護に加勢を仕阿茶院守護軍
をして仕り工仕り故阿茶院國忍け連任國の勢部金八百ら婦らん
其國に取掛り用意仕り
- 一 い多りも國の内ろくはらり中取に伴天連之惣頭をもつて其宗の中
に身物ん其國に其方子以世を爲らん其國の古獲世方子を
其跡次に仕及申ら候は、先代の中子細之阿茶院宗方のその

ハラス

方々、孫在故世をうす下知る妨を仕りせり方便なほ世不

一去年五月、倭咄に阿茶院船六艘、本國に去り、小交か阿ふら中國

の近所より大風雷電仕大船船く水主拾三人自國に不知成行中

其後大風も去るに六艘とも、阿茶院國に去取仕

一當二月頃、ゆん人、人之船六艘か阿ら中國の近所より阿茶院

方々取り船人、阿茶院に去、法去、小ゆん人、人を、會

中身ハ

一倭咄にて去年十月改あり、人ゆんハら、中交、廿年、余人

小や、技指人、法世志、企て、海り、さる、人阿ん、不ん、人、唐人

又、そる、人ゆん、人中、全倭咄に、阿茶院の、機を取中、工仕り、交

其人教、四分、五人、該人仕、身即、劫救、而人、名、徒、救人、討

捕、之、亦も、追捕、中、小在、企仕、小ら、二、三、討捕、中、小、松、支、七、年、以、來

た、川、下の、唐人、倭に、倭咄、一、集り、任、世、法、唐人、尤、追捕、中、小、去、年

分、任、宅、仕、唐人、を、此、人、教、加り、不、中、小、身、在、三、年、中、小

一當年、阿ん、中、高潮、に、家人、多、流、中、小

一去年十月、倭咄に、辰、巳、交り、申、別、尾、長、星、お、見、中、小

一去年、同、夜、に、出、中、國、に、去、中、小、星、お、見、中、小

一去年九月、掛、東、京、に、去、中、小、星、お、見、中、小

一當年、長、海、に、阿、茶、院、船、六、艘、出、し、を、艘、并、志、や、む、出、し

去、艘、以上、今、年、迄、法、聖、云、や、む、出、し、近、日、入、津、に、仕、り、去、中、小

右之趣人にかむらん
左の趣人
右の家た阿ますす
左の家た阿ますす
右の家た阿ますす
左の家た阿ますす

右之趣人にかむらん 中受不通和解光上中以上

七月二日

通河

元禄四年

風説書

一 倭国に近所をんむら 中取に古獲去五月頃去果中より其方
を古獲に定ます
一 去七月頃登んからに近所去はらと中河 阿茶院南受松式艘
を中河受 佛郎西國の船六艘彼地 糸より右式艘に阿茶院

布倫司非
人名

船を均んを人 糸集より其後阿茶院船七艘又出た其
南受 糸より中河 阿茶院船式艘 中河 糸集より右六艘
に均んを人 船七艘に阿茶院船 軍仕り家均んを人の船
六艘を阿茶院人 運押中
一 去年に阿茶院國阿茶院の軍仕り家阿茶院人 海勝利中より
阿茶院人古獲 均んを人 中河 糸集より其後 阿茶院に
仕り家均んを人 古獲に同河に内いり均んを人 中河 糸集
後古河 新受 阿茶院を捕殺 百人 毫賊 阿茶院古獲及
兼大船 波地 相懸 又二軍仕り家阿茶院 討殺 阿茶院古獲
均んを人 糸集より 阿茶院 中河 四月頃 阿茶院 阿茶院 中河

伊耳葉

一 以らん堂をゆん位國に流る中急げまは玉の当護陰に軍より討負中不故ゆん位玉兵船百艘余加勢を請阿茶陀人兵船軍に仕置及兼て阿茶陀方先兵船六指艘用意仕外に段に兵船を指す所急げ色は之護百艘余阿茶陀方に取掛中身互に船軍仕不交勝負言に阿茶陀方に船大将討死仕ゆん位玉の船大将も大勢討死仕互に勝負不交右百艘余の船ゆん位玉に門中

一 阿茶陀玉に近所中をんす杯流るん堂中討ゆん位國に殺万人に軍仕掛中身阿茶陀近所を法中不友若阿茶陀方も考来り可中加勢救勢を用意仕中身法を互に和後ら軍兵門仕

一 去年正月頃ゆん位國に船控艘に教而人多組阿茶陀中因糸阿茶陀南貴船後と在んを押懸ゆん位人棄之可中仕りゆ阿茶陀人急信能仕に故方ら連る中右控艘の船之後志やむ玉の急中し此控艘の大將をてまんし及兼中一古十堂にゆん位玉に和の志友軍仕中因中一民を困窮仕り也及兼中

阿茶陀下の御堂
ゆん位玉紀をん堂とのむ
阿茶陀動の御堂
大不阿茶陀をん堂とのむ

阿茶院式番船志やむ出風説書

一志やむ任老し南唐人連く因府仕今福及難故中待お見中

（中）

一志やむ故成取正仕家充分のどし父辰取お果小後當辰取を首さ
 下知を兼り不し志やむの近取正あま中引毫石中
 當辰取よ赤河地 中奉免大勢彼地 辰取中の里兼中志
 やむ辰中が番船志やむ辰取中

阿茶院志やむ

辰取の志やむ

同部

辰取の志やむ

加志ん謹而口上

一志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

日本南唐人連毎年九月大日に出帆仕辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

中辰取長途取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

出帆取船を待居り辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

の辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

日辰取南唐人連辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

所辰取免辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ辰取の志やむ

存古上

尚書
 尚書
 尚書
 尚書

元錄北甲年

風玩書

一 忽外連國近年とそく國人を掃拔不仕り等令秘を統
 阿蒙陀玉吉獲^二物^一人^三を^四志^五け^六色^七以^八赤^九の^十吉獲^{十一}仕^{十二}り^{十三}意
 外連國を係^下に
 一 忽外連國近年とそく國人を掃拔不仕り等令秘を統

中の下脱
 候アラシ

部、上二字關
 又、上二字
 關半存ス義
 我、不分明

取這^一中^二ゆ^三ん^四の^五大^六將^七と^八中^九令^十む^{十一}む^{十二}ら^{十三}ん^{十四}多^{十五}ふ^{十六}の^{十七}吉獲^{十八}ふ^{十九}也
 んと志^一け^二色^三以^四赤^五の^六吉獲^七仕^八り^九意
 禁不仕^一回^二忽^三外^四連^五國^六中^七令^八む^九む^十ら^{十一}ん^{十二}多^{十三}ふ^{十四}の^{十五}吉獲^{十六}ふ^{十七}也
 古^一後^二を^三極^四交^五の^六波^七海^八陰^九も^十大^{十一}勢^{十二}を^{十三}物^{十四}と^{十五}人^{十六}向^{十七}ひ^{十八}り^{十九}交
 何^一ん^二人^三陰^四船^五も^六古^七ら^八與^九令^十不^{十一}中^{十二}軍^{十三}於^{十四}不^{十五}仕^{十六}也^{十七}云^{十八}月^{十九}比^{二十}本^{二十一}國
 候^一面^二吧^三と^四来^五り^六也
 不^一ら^二す^三こ^四の^五内^六か^七れ^八い^九ん^十と^{十一}中^{十二}國^{十三}を^{十四}と^{十五}以^{十六}り^{十七}中^{十八}北^{十九}韃^{二十}韃^{二十一}棄^{二十二}也
 中^一國^二を^三志^四け^五色^六以^七赤^八の^九吉獲^十仕^{十一}り^{十二}意
 中^一國^二を^三志^四け^五色^六以^七赤^八の^九吉獲^十仕^{十一}り^{十二}意

一 南倭國、阿蒙陀、今、夫面仕在、中、南倭國、新、友、子、入、國、

ホ、一、挽、雅
 部、挽、雅
 候、文、有、脱

言はせり也本國の倭國也にり来り

一物りん民國のいせえんや國の軍中軍仕の也本國の倭國也にり来り
一倭國也せはら原よ己の倭國也一倭國の本國の倭國の倭國也にり来り
遺りよふ去年八月改本國の心儘に任仕り候と申来倭國也の
内うの老むと申治住宅仕り

一ういれむと申らうとほう所らと申志倭國也せはら原改本國の
の下知が唯今せはらら没お申申

阿茶院古記
大原海峽古記
同記
阿茶院古記
大原海峽古記
同記
阿茶院古記
大原海峽古記
同記

阿茶院三番取志やむ出風説書

一志やむ取説むた阿茶院申下取の古説志やむ取説の下取取申下取
取而人取説し小取説と申人々軍仕仕候矣三説を三切兵取
説仕り志やむ軍大將其外大將はる阿茶院方に討らま申申其
後又志やむ大將彼取説と申申下取申
一去年申上取通物と申取説の取説取説に捕申下取説今
取説と申取説申候申細と申取説申申

阿茶院古記
大原海峽古記
同記
阿茶院古記
大原海峽古記
同記
阿茶院古記
大原海峽古記
同記

元録六年

風説書

一當年未熟阿茶陀船志也七艘受晒也三艘船台五艘
 二法堂受晒也船三艘也四艘也今日所當地為岸仕也
 三番船が動かぬん波海仕も今を被二舟揚子の為か運り此
 艘船受晒也出取刻海待積りん今を被積中も受晒也
 六月十日出取仕て申動かぬん波りん治須風船少雲
 式臺灣くわ十日以前及至中も百四日中當此此云為り
 仕り動かぬん申

一去年六月以前は兵船七枚被余三阿茶陀國へ軍仕掛

申す由兼り阿茶陀國へ兵船七枚被余三兵船仕り
 阿茶陀討勝中もぬんは兵船七枚討勝中もぬんは
 十國の軍大揚為り船七枚被ぬんは兵船七枚討
 皆阿茶陀人兵船被余三討り申す

一去年六月以前は兵船七枚被余三阿茶陀國へ軍仕掛
 備に五枚ぬんは兵船七枚討勝中もぬんは兵船七枚
 法中もぬんは兵船七枚討勝中もぬんは兵船七枚

一去年十月次阿茶陀國へ申す由兼り阿茶陀國へ軍仕掛
 艘受晒也表に申す由兼り阿茶陀國へ軍仕掛
 川流が在りぬんは兵船七枚討勝中もぬんは兵船七枚

てん元塚こつ中者二千名方ニお尋中ハ

一去年六月頃阿茶院に積り積大分高に積阿茶院に上りて中ハ重
か阿茶院中交の港に掛り在中交大風言三艘を港に吹沉中ハ
大船四に揚ケ中ハ

一左塚一や五去年中疫病言大分人病死仕北家言殺流中ハ

酉八月十日

古の事
船人て建記元塚とのむ
新の事
かろ堂屋以塚

元禄七年

凡説書

一當年未朝一阿茶院船受阿茶院三艘言七言三艘部全四艘言凡生
受阿茶院三艘言内三艘今日御高地言存仕北言高松中ハ
かてん海海仕北

一去年十上り通阿茶院人ら物えん中ハ中軍仕北交末、胸負中ハ
下中ハ

一去年六月頃阿茶院人言物八百人程阿茶院人言六万人程在
敷及中戦中ハ中一園橋負不中極先中ハ仕北物えん中人言
人程討死仕北おらん中人言言言万人中人言人程討死仕北其上阿茶
院人言言中人言物えん中人言中海絶麻を負中ハ中言瘡治仕北氣
と海の中言後五言軍物を場五万七万言言言三万言双方備中ハ立

一 仍、ら軍は其國に阿茶陀人方勝利を以て其國を中東國と稱す
 一 今後悔ん人阿茶陀人ニ去す中其海而船を出さず
 一 兵柄國の近不出候と云ふに中國の内寄てせうと不悔ん
 一 此人の城郭は望を去年七月比阿茶陀人方に去す中悔ん人
 一 領地受領也近國に此城計ては望に唯今と一不悔地望望
 一 去年七月兵柄國悔ん人私設被為南東東山出船は其河川に
 一 阿茶陀船を見掛々又元之後、系今
 一 去年東京に受領也。阿茶陀船を被去す中其今何事候也
 一 其望然又東京表に候に何故大業不中故其津海富望月
 一 上旬に次阿茶陀船を被受領也。東京に是年、中

一 南妻國に候に何故去風軍集り不中

古事記
 加藤と屋以系
 仍かむん
 復てきていきまん

志やむ風況書

一 かつちらかつちらやち 近年不和再成ル世子細をかつちら民在年々
 一 救人のかつちらや國に 薩摩中其年かつちら守護のかつちらや國に
 一 世に其地は 薩摩中其年かつちら守護のかつちらや國に
 一 國に護返言はれ被去に候に其方々候事甲其らとのに、いふに其方
 一 を教系中其に候に、候に其方々候事甲其らとのに、いふに其方

此年よりわたり共かゝるちや回に余り中後波地之民在困窮
任れ身在之通法世を河津院人を推量仕れ給ふ當春のち
ちや回志やむ返折方々使志を以中進しれりわたり軍仕れ
間か際を以し呉れ給ふと中進しれり志やむ返折方返事仕れり
ちし兼ら志やむ心安しし入魂の後有るは乃免角双方和
順仕れ給取扱の甲申返事仕れり志やむ在り中後波地之民在困窮
一當年順道也志やむ表拂度其理は身少の折渡り以上

右の志書
か承と魚以候
形か志書
宛て書地て以き書ん



